

公開プロセス結果の平成27年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成25年度 補正後予算額	平成25年度		公開プロセス		平成26年度 当初予算額 A	平成27年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	
			執行可能額	執行額	評価結果	とりまとめコメント(概要)				反映額	反映内容		
011	日・インドネシア経済連携に基づく 外国人看護師・介護福祉士候補者 に対する日本語研修事業	125	125	119	事業全体の抜本的な改善	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師・介護福祉士候補者に対する一連の研修(訪日前・訪日後・受け入れ施設での研修)が全体として効率的に実施され、合格率が上がるよう、政府内で連携した体制を作るべき。 ●日本語研修の効果が上がるよう、研修先・候補者の選定、効果を計る指標の設定、不合格者のフォローアップ・分析を含めて、検証を行うとともに、コストの削減を図るべき。 	149	309	160	-	執行等改善	公開プロセスでの指摘を踏まえ、7月に省庁間協議を開催するなど、省庁間の緊密な連携に向けて取り組んでいるところ。 また、各種研修の実施機関に対するヒアリングを実施中であり、今後、効率的な研修実施に向けた改善を検討していく予定。 一方、来年度予算要求額については、受入れ施設側の求人数増加に伴う看護師・介護福祉士候補者の増加が見込まれるため、本年度に比して増額となっている。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」309
081	旅券関連業務	8,211	8,211	8,101	事業全体の抜本的な改善	<ul style="list-style-type: none"> ●旅券関連業務全体について、歳入(旅券発給手数料)とコストを透明性を持って国民に示すとともに、間接経費を含めて総合的に検証し、コストの削減を行うことが必要。 ●旅券の予備冊子数について必要な検証を行い、適正な在庫管理の方法を再検討し、在庫の削減を図るべき。 	7,765	7,307	▲458	▲458	縮減	過去3年間(H23年~H25年)の旅券発給統計数を基に必要冊子数を算定するとともに、各都道府県における日々の旅券発給実績を速報数として把握し、適切な旅券の在庫管理が反映可能となるよう検討した。	
092	独立行政法人国際協力機構運営費 交付金(技術協力)	152,973 の内数	152,973 の内数	152,973 の内数	事業内容の一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ●NGOの育成のため、草の根技術協力の第三者評価を実施して検証を行い、その結果を踏まえて、NGO側の持続性及び他のスキームとの重複にも留意しながら、より多くのNGOが参加できるよう、制度的な改善を図るべき。 ●NGOによる国内での事業展開への支援については、国内の他の施策、これまでの事業の効果の検証を十分に行った上で、考え方を整理する必要がある。 	150,274 の内数	162,774 の内数	-	-	執行等改善	公開プロセスの評価を踏まえ、今年度中に草の根技術協力事業について第三者による包括的な評価を行い、同事業の制度の妥当性・有効性・効率性等を検証した上で具体的な制度改善を実施するとともに、NGOによる国内での事業展開への支援のあり方について整理を行う。	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」22,155百万円
合計									▲298	▲458			

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「段階的廃止」、「縮減」、「執行等改善」及び「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：行政事業レビューの点検の結果、事業を廃止し平成27年度予算概算要求において予算要求していないもの。(行政事業レビュー点検以前に平成25年度末までに廃止されたもの、平成26年度末に終了予定であったものは含まない。)

「段階的廃止」：行政事業レビューの点検の結果、明確な廃止年限を決定するとともに平成27年度予算概算要求の金額に反映はあるものの、予算要求をしているもの。

「縮減」：行政事業レビューの点検の結果、何らかの見直しが行われ平成27年度予算概算要求の金額に反映を行うもの。

「執行

「現状通り」：行政事業レビューの点検の結果、平成27年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がなかったもの。(廃止、段階的廃止、縮減及び執行等改善以外のもの。)